真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	久保講堂管理運営事業	担当課・係	教育委員会　文化課　文化財係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7　文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
成果指標	入場者数	人	14,244					
	久保講堂活用件数	件	18					

事業内容

本市の芸術振興に寄与した「久保貞次郎」ゆかりの久保講堂は、建築家の遠藤新が設計した魅力ある建造物として、いまだに建築ファンが見学に訪れる。
展示施設としてだけでなく、幅広い文化財の有効活用に向けての可能性が期待されている。
昭和13年真岡小学校敷地内に建設　（真岡小学校の講堂として遠藤新氏の設計による・久保貞次郎の寄付）
昭和61年に現在の場所に移築（老朽化による取り壊し方針も打ち出されたが、市民が一体となり存続することとなった）
平成9年5月7日　国登録有形文化財（栃木県初）
令和6年から「創造美育」を提唱した久保貞次郎にちなんで、子ども学芸員を育てる「ワークショップ・フェスタ」「こども美術館」の会場として利用している

前年度の課題（Check）

・キャスターパネルの有効性を検証するために既存の大型パネルを撤去した状態で使用。文化祭以外は大型パネルを使わずに都度、有孔ボードを組み換えて自由にレイアウトする方式にした。（久保講堂利用件数　26件）
・消防設備点検の際、屋外消火栓ポンプの老朽化による水漏れあり、ポンプ更新の必要性を指摘された。
・トイレが和式のみ
・天井灯の水銀灯をLED化する必要あり

7年度振り返り

【1】実績（Do）7年度に実施した事業
・展示用のキャスターパネルを全体の3分の1更新
・屋外消火栓ポンプ更新工事（R8に繰越明許）
・トイレ改修、照明等の整備等について検討中
・使用料の見直し・改定

【2】結果と課題（Check）
既存大型パネルを撤去した状態での貸出は、汎用性が高く好評ではあるが、職員が都度有孔ボードの設置を手伝う必要がある。
R8の青年女性会館の除却に伴い、トイレの洋式化が求められている。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
屋外消火栓ポンプ工事（繰越明許費）
女子トイレ洋式化工事
分水工事（北側道路より分水）

(2) 長期的な計画で検討すること
照明のLED化
空調設備の導入